

将来像

輝く未来へ…みんなで創る希望のまち

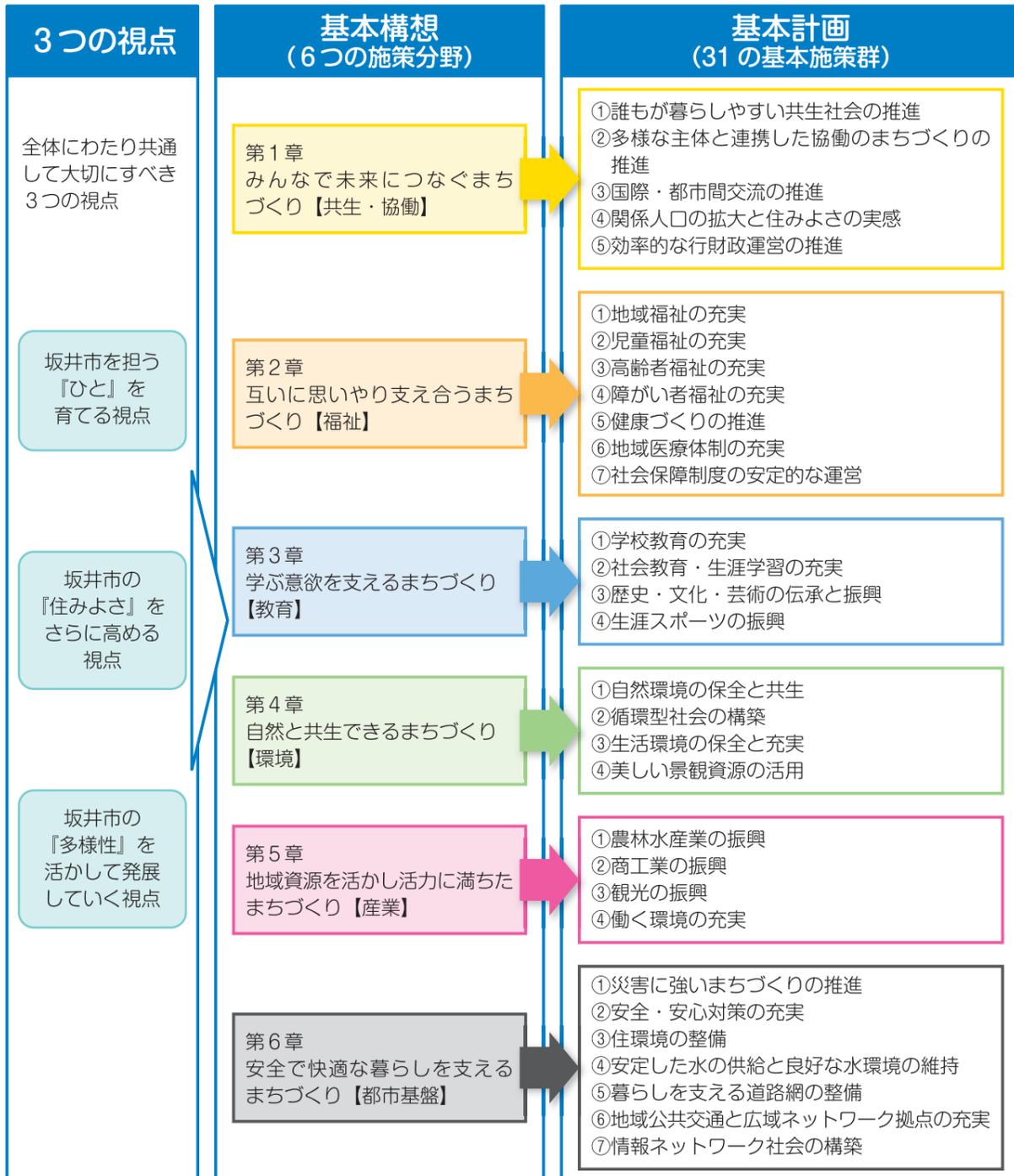
～子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～

輝く未来へ…

みんなで創る希望のまち

～子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～

2020-2029



HP



Instagram

## はじめに

平成 20 年度を初年度とする坂井市総合計画の策定以降、まちづくりの基本は「人」という姿勢のもと、様々な施策を実施し、その成果は、市民満足度調査において 77.2%の方が「住みよい」と回答されており、「住みよさ」や「定住意向」に関する高い評価が表れています。

一方、坂井市総合計画の策定時から 10 年以上が経過し、人口減少・少子高齢化の進行、北陸新幹線福井・敦賀開業が目前に迫るなど、坂井市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

このような時代の流れとともに変化していく課題や市民ニーズを的確に捉えつつ、今後もまちづくりの理念を引き継ぎ、その基本を「ひと」として、協働のまちづくりをさらに発展させていきます。

このため、市民や企業、関係機関等と連携し、本市の 10 年後の目指す姿を明らかにして、その実現のための取り組みの方向性を体系的に示す「第二次坂井市総合計画」を策定しました。

## 計画の構成・計画期間

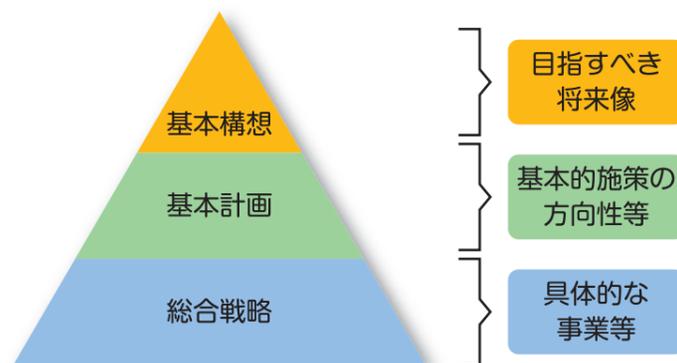
本計画では、持続可能なまちづくりの実現を目指し、地方創生を目的とする具体的な事業を明らかにする「地方版総合戦略」と一体的に策定しました。

「基本構想」は、坂井市が目指すべき将来像を明らかにするとともに、それを実現するための施策の大綱を定めるもので、令和 2 年度を初年度とする 10 年間の計画期間とします。

「基本計画」は、基本的施策の方向性や大きな数値目標を総合的かつ計画的に定めるもので、令和 6 年度までの 5 年間の前期とします。

「総合戦略」は、「基本計画」で定めた基本的施策の方向性や、その目標達成のために必要な具体的な事業などを定めるもので、令和 6 年度までの 5 年間の前期とし、毎年検証を行い必要に応じて更新することを可能とします。

第二次坂井市総合計画の構成



R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
基本構想 10 年間									
前期基本計画 5 年間					後期基本計画 5 年間				
第二次総合戦略 5 年間 PDCA (単年更新機能)					第三次総合戦略 5 年間 PDCA (単年更新機能)				

## 坂井市が目指すまちの姿

### 将来像

**輝く未来へ…みんなで創る希望のまち**  
～子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して～



### 「輝く未来へ…みんなで創る希望のまち」とは

市民一人ひとりが輝く未来へ向かって、市民や行政、まちづくりに関わる多様な主体が協働し、将来にわたって住みたい、住み続けたいと思える「坂井市」を目指すという意味を込めています。

### 「子どもたちの夢を育む“ふるさと”を目指して」とは

将来を担う子どもたちが、夢を抱きながら自信を持って育っていける環境づくりに取り組むことによって、自分たちも「この環境の中で子育てをしたい」という誇りと愛着をもてる“ふるさと”を目指すという意味を込めています。

## 3つの視点

目指すべき将来像やその達成のために必要な基本的施策の方向性を検討し、施策の指針を定めるにあたり、全てにわたって共通して大切にしたい3つの視点



### 坂井市を担う「ひと」を育てる視点

坂井市の未来を担う次世代が健やかに育つ環境を地域ぐるみで整え、コミュニティとの関わりを通じて坂井市に誇りや愛着を持った担い手を育てる

### 坂井市の「住みよさ」をさらに高める視点

だれもが坂井市の「住みよさ」を実感でき、「住みたい」と思える住環境を実現するとともに、豊かな自然や心安らぐ風景を引き継ぎ、持続可能なまちづくりを図る

### 坂井市の「多様性」を活かして発展していく視点

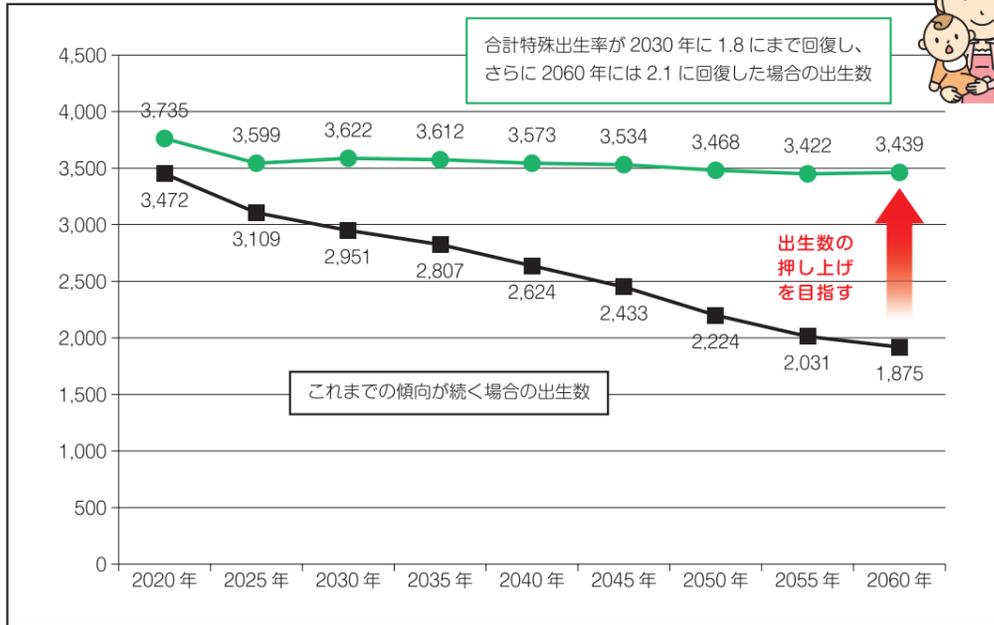
多様な立場や考えを持った人が力を合わせ、活力を生み出し、地域間や世代間などの交流・連携により、まちづくりの知恵や手法を共有することで一層発展していく

# 将来目標とする人口規模

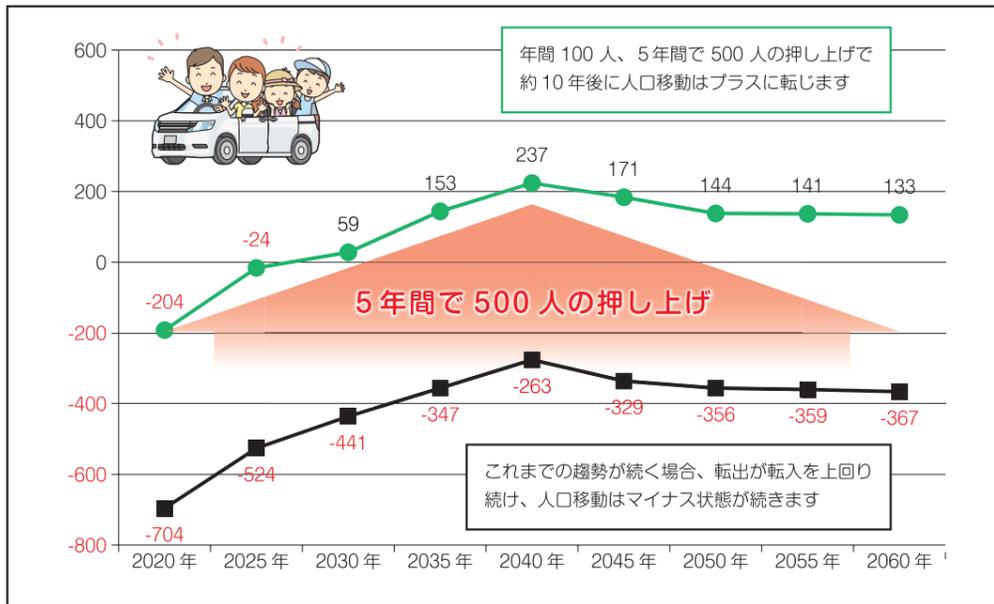
<b>合計特殊出生率の目標</b> 現在：1.57 2030年：1.8 2060年：2.1	<b>転入・転出の目標</b> 年間100人、5年で500人の押し上げ
--	--

**将来の目標人口**  
**2060年：72,388人**  
 これまでの傾向が続く場合の59,811人よりも12,577人多い

## ■出生数（5年間分）の将来推計

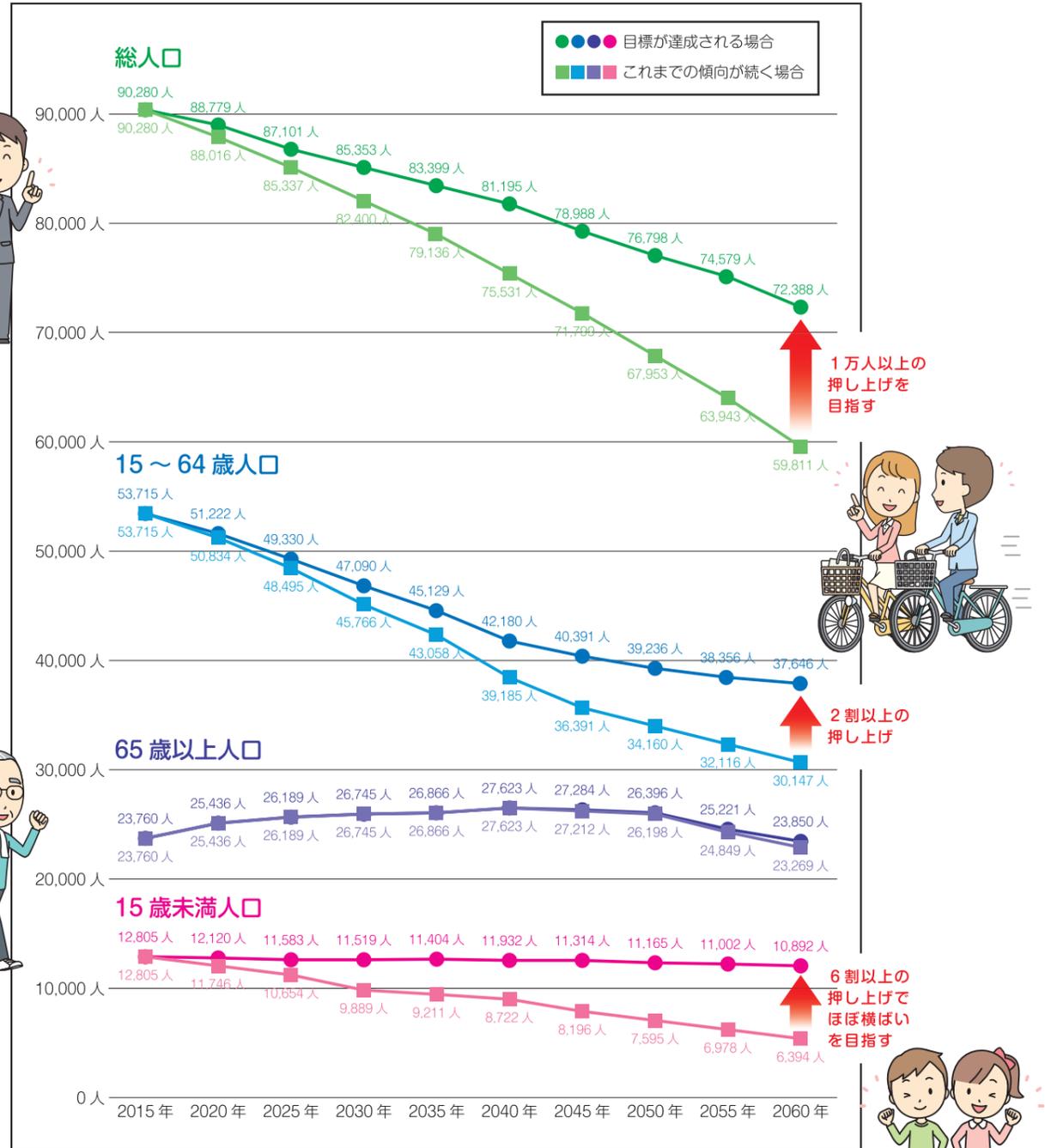


## ■転入転出人口（5年間分）の将来推計



※転入転出人口：市内への転入者数から市外への転出者数を差し引いた数

## ■総人口および年齢別人口構造の将来推計



目標が達成されると

# これからの5年間で取り組むこと

## 1 みんなで未来につなぐまちづくり 【共生・協働】



地域の個性が感じられる魅力ある坂井市の実現に向け、市民ニーズに対応したきめ細かな行政サービスを提供するとともに、市民自らが地域への誇りや愛着を持ちながら、地域を形成していくための環境づくりに取り組みます。

また、市民や団体、NPO法人、ボランティアなどの協働のまちづくりを積極的に推進するとともに、多様な主体と連携を図り、誰もが輝くことができる持続可能な社会づくりに取り組みます。

## 2 互いに思いやり支え合うまちづくり 【福祉】



誰もが健康で生き生きと暮らせる地域社会を実現するため、地域や行政、専門機関などの連携の強化を図るとともに、個々の力を活かしながら活躍できるよう支援し、住み慣れた地域で互いに支え合い安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

また、若者が家庭をもち、子育てに夢をもてる地域の実現に向け、子育て支援や育児環境の充実を図り、総合的な住民福祉の向上に努めます。



## 3 学ぶ意欲を支えるまちづくり 【教育】

将来にわたって、夢と希望にあふれる地域社会を実現するためには、人づくりが何よりも重要であり、子どもたちが夢と希望を持ち健やかに成長できるよう、感情豊かな人格形成のための支援、グローバル化や情報化の進展に対応できる人材の育成など教育環境の整備に取り組めます。



また、生涯学習や生涯スポーツの推進に取り組むとともに、地域固有の歴史や伝統文化、芸術などを守り育てる心の醸成に取り組む、次世代に引き継ぎます。



## 4 自然と共生できるまちづくり 【環境】

温暖化防止や生物多様性の確保などの環境問題に対応するため、身近な環境の保全に努めるとともに、持続可能な循環型社会の構築に向け取り組みます。



また、坂井市が誇る美しい海や山、川、田園などの自然景観をはじめ、地域固有の歴史や文化に育まれた街並みなどの故郷の景観を次世代に引き継ぐとともに、誇りと愛着をもって暮らすことのできる故郷の創生に向けて取り組みます。

## 5 地域資源を活かし活かに満ちたまちづくり 【産業】



人口減少が進む社会においても、足腰の強い産業基盤を構築し地域経済の活力を維持・向上させるため、各産業分野における担い手や後継者の育成、生産物の付加価値向上、地域に根差した産業や新規創業の支援、雇用環境の充実など、持続可能な産業の基盤づくりに取り組みます。

また、観光の振興に向け、地域資源に磨きをかけ周辺自治体との連携を強化し国内外からの誘客による交流人口の拡大を図ります。



## 6 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり 【都市基盤】



市民が安心して安全に暮らせるよう、地震や豪雨、豪雪などの災害に強いまちづくりの推進、防犯体制や交通安全の強化、公共交通ネットワークの充実と利便性の向上に取り組めます。

また、空き家等の発生抑制や有効活用を促進するとともに、身近な道路や公園の整備など潤いのある都市空間の充実を図ります。さらに、高度情報化社会に対応した情報通信体系の整備を進め、市民の利便性向上と情報格差を減らす環境づくりに取り組みます。

